

会議録

会議の名称	令和5年度 第1回 西東京市保健福祉審議会
開催日時	令和5年12月13日(水) 18:30~20:10
開催場所	西東京市役所田無庁舎3階 庁議室
出席者	熊田委員、篠宮委員、山下委員、三上委員、長尾委員、渡邊委員(リモート参加)、綿委員
議題	諮問事項 「がん検診(胃がん内視鏡検診)事業の利用者負担のあり方について」
会議資料の名称	次第 資料1 胃がん内視鏡検診について 資料2 令和5年度 多摩26市胃がん検診実施状況一覧 資料3 胃がん内視鏡検診についての位置付け 資料4 西東京市がん検診(任意がん含む)の受診者数と受診率の推移 資料5 多摩26市がん検診(法定5がん)受診率一覧 参考 第2次西東京市健康づくり推進プラン 後期計画(健康都市プログラム)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>■開会</p> <p>定足数を満たしているため、会議成立。傍聴希望なし。</p> <p>■次第5 会長・副会長互選</p> <p>互選の結果、会長に熊田委員、副会長に篠宮委員がそれぞれ選任される。</p> <p>■次第6 議題 諮問事項</p> <p>「がん検診(胃がん内視鏡検診)事業の利用者負担のあり方について」 事務局から、資料を基に説明。</p> <p>【質疑応答】</p> <p>○A委員</p> <p>西東京市において、がん死因が26%と高い中、胃がんはどの程度か。</p> <p>○事務局</p> <p>今回の資料にはない。</p> <p>○B委員</p> <p>内視鏡検査導入には賛成だが、導入したとて、受診率が極端に上がるわけではない。受診率の非常に高い調布市やあきる野市等は、なにか別の取組みがあるのか検証が必要ではないか。</p> <p>また、利用者負担を検討するにあたって、他自治体のデータをご提示いただきたい。受診率の高い自治体は利用者負担が低いといった因果関係が見えてくるかもしれない。</p>	

○事務局

調布市は対象者に個別に案内を送付しており、あきる野市はセット受診が可能など、受診しやすい状況であると考えます。

○A委員

調布市やあきる野市の手法は、西東京市にも参考になるのでは。

○C委員

胃がん内視鏡検診を導入した際、診療科目はなにか。また、内視鏡を導入すると、受診率が上がるかもしれないが、受け入れ体制が整うのか、市内でその診療科目のある医療機関の規模感を伺いたい。

○事務局

診療科目は消化器科である。市内で消化器科関係の医療機関は21あるが、現時点では11医療機関に賛同をいただいている。撮影方法や読影など精査マニュアルが作成できたら再度賛同いただけるか伺う予定である。

○D委員

そもそも胃がん内視鏡検診導入は、がんで亡くなる方を減らしたいという目標があって、その手立てとして内視鏡導入があるのではないかと考える。そのため、受診機会のない方がどうすれば受診するようになるのか等の議論も並行して行う必要があるのでは。

○事務局

確かに職域で健康診断をされる方は別として、対象者に個別に送付が来ても自身と結びつかず受診されないケースもあると考えている。そのため、健康事業ガイドを送付し、ご家庭の中でお声がけいただくほか、検診を受け続けることでがんの死亡率の減少効果がある等、周知を進めていきたい。

○A委員

データは職域を除いた個々の受診率で間違いないか。また、内視鏡導入によって一定の効果があったとの認識で間違いないか。

○事務局

職域を除いた受診率で間違いない。他市では、内視鏡検査を導入後、受診率が上がったところがあり、一定の効果があると認識している。

○E委員

バリウム検査は副作用の観点から受診したくない人もいるかもしれない。この内視鏡導

入は、バリウム検査を減らして内視鏡検査を増やしていくということか。

○事務局

バリウム検査によってがんが発見できるかどうかを疑問に思われる方もいて、そのような観点から他自治体でも内視鏡を導入している経緯もある。

○F委員

医療機関によってはバリウム検査設備の交換時期に更新をしない選択をするところも多かったように感じるため、今後の見通しを考えると内視鏡導入は不可避であるといった背景も今回の導入検討の経緯にあるのか。

受診したい人が受診できる環境づくりをキャパシティも含め進めていくことも重要。がん予防に関して市民の方が高い関心をお持ちであるなら、生活習慣に健康的な要素を取り入れることとして、1次予防としてがんになりにくい生活環境やからだづくり対策があって、2次予防として内視鏡導入でがんの早期発見につなげるといった関係性の説明があると良いかと考える。

○A委員

全体の中でがん検診を捉えていかないと、胃がん検診にフォーカスしづらい部分もあるのかと。全体の中で胃がん検診の位置づけの説明があるとわかりやすい。

○G委員

全体のなかでがんの死亡率を下げることが目標であれば、それはさまざまな施策や計画のなかでどのような位置づけなのか知りたい。また、受診したいと思えるような働きかけが大事かと考える。経済面によって受診できない場合もあるかもしれない。

そのほか、同じがんの中でも受診率の違いがある理由はあるのか。

○事務局

乳がんや子宮がんは対象の方へ個別に通知していることから受診率が高いと推察する。

○A委員

内視鏡検診を導入することで実際にごん予防に結び付くのか。受診率とがん発見率は比例するのか。内視鏡検診導入が、がん発見率がどれだけ上がるのか。

○F委員

検診の質を保っていくことも重要。胃内視鏡検診導入検討会の中でも医師会の方の様々な意見を集約していると思うが、その中で検診の質をどのように上げていくか等の意見があったら伺いたい。

○事務局

内視鏡検診導入に伴い、胃がんの死亡率が下がっていくのかは、5年、10年経たないと見えてこない。検診の質をあげていくことは確かに重要である。バリウム検診は集団検診での実施のため、決まった期間内で受診しなければならないが、内視鏡検診は医療機関に行ってもらうため受けやすい環境整備につながると考える。

○D委員

利用者負担をどの程度にするかを考える根拠が必要である。年齢によって負担額が変動するのがよいのか、無料がよいのか、また、なぜ無料にできないのかといった資料が必要である。

○A委員

無料にできない理由を示してもらえると議論しやすい。同規模人口の他自治体の状況も可能であれば示していただきたい。また、収入階層による受診率等も分かると良い。

○B委員

他自治体が内視鏡検診を導入してバリウムと内視鏡とどの程度受診割合に変化があるのかのデータをお示しいただきたい。

○F委員

内視鏡導検診入によって負担額が増えている自治体もあると聞いている。受診率がさげることにならない他自治体の取組み等の資料もあればお示しいただきたい。

○G委員

ほかのがん検診の負担額はいくらか。

○事務局

法廷5がんについては、西東京市は負担額ゼロで実施している。

○A委員

資料2で他自治体の状況、たとえば府中市は、徐々に下がっているが、武蔵野市は上がっている等の理由が気になる。もちろんコロナの影響もあると思うがいかがか。

○事務局

コロナの影響によってさがっていると聞いている。上がっているところは、要因等について引き続き調べていく。

■事務連絡

○事務局

次回は1月17日（水）の開催。本日の内容を踏まえ、資料を作成しご提示する。

■閉会